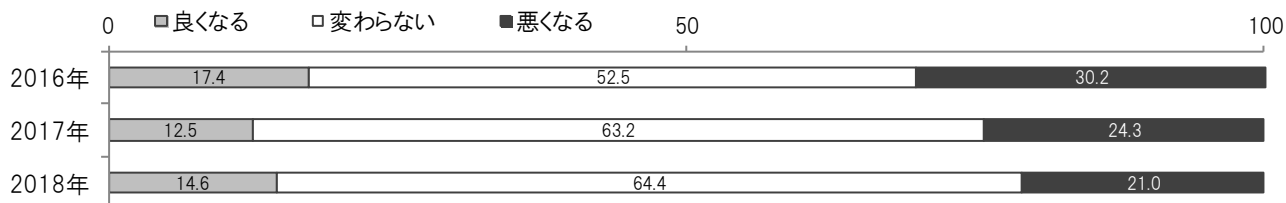


博報堂生活総合研究所 生活者にきいた“2018年 生活気分”を発表

来年の景気は「悪くなる」との予想が3年連続“減少” しかし、好転には至らず、「変わらない」が“最多”

世の中の景気予想 Q. 来年の「世の中の景気」は、今年と比べてどうなと思いますか(単一回答)

(%)



博報堂生活総合研究所は、2015年から毎年秋に翌年の景況感や楽しさ予想、力を入れたい生活行動など、来年の動向について、全国の20～69歳男女3,900人に予想してもらって調査を実施しています。このたび、2017年の調査を加え、3回分の来年予想の結果を比較分析し、“2018年 生活気分”としてまとめました。

分析結果からは、景況感の悪化に歯止めはかかったものの好転まではせず、現状と変わらないだろうと考える生活者が増えていることがわかりました。一方、こうした変わらぬ状況を前提に、健康管理に力を入れる、新しいことを始める/これまでやっていたことをやめるなど、自らが変化を起こすことで暮らしを安定させようとする、そんな生活者の思いもみえてきました。

“2018年 生活気分”調査のポイント

2018年の景況感

景気/家計の予想は3年連続で「悪くなる」が減少、「変わらない」が増加

- 2018年の世の中の景気は「悪くなる」との予想は2016年の調査開始以降、連続して減少しました。しかし、「悪くなる」(21.0%)は「良くなる」(14.6%)を相変わらず上回ったままです。3年連続で増加しているのが「変わらない」(64.4%)で毎年最多となっています。
- 同様の傾向は、自分の家計予想についてもみられました。

2018年の楽しさ予想

世の中よりも、身の回りの楽しさが多くなることを期待

- 2018年、世の中の楽しさは「多くなる」(17.2%)と「少なくなる」(13.3%)に大差がありません。
- 一方、身の回りの楽しさは、「多くなる」(31.3%)が「少なくなる」(12.2%)の約3倍です。
- 特に、女性で来年への期待も含め、「多くなる」(37.8%)が多く、男性(24.8%)を13.0ptも上回っています。

2018年の生活行動意欲

1に「睡眠」、2に「健康」、3・4が「余暇」で、5に「貯蓄」

- 2018年に力を入れたいことは1位「睡眠・休息」(80.7%)、2位「健康」(79.6%)がほぼ同レベルでトップ2です。
- 以下、3位「趣味・遊び」(74.5%)、4位「家族との交流」(70.2%)の「余暇」系、5位「貯蓄・投資」(66.3%)と続きます。
- また、前回に比べ、全体的に意欲は低下傾向。まずは、休みたい、貯めたいという意識が高まっているようです。

2018年の始めたい/やめたいこと

始めたいことで「副業」、やめたいことで「人付き合い」が上位に

- 2018年に始めたいことがあるのは3人に1人(31.3%)。やめたいことがある5人に1人(20.7%)を上回ります。
- 始めたいことでは「運動」「ウォーキング」「貯蓄」「副業」「資格や免許の取得」「勉強・通学」などが上位に挙げられます。ここからは、健康や金銭、能力に関する自力を高めることで暮らしを安定させたいと思っている、そんな生活者の願望がうかがえます。
- やめたいことでは、「無駄遣い・衝動買い」「食べ過ぎ・飲み過ぎ」「無理しての人付き合い」が上位で特に女性で顕著。無理や無駄をなくして合理的に暮らしたいと感じているようです。

2018年のイベント参加意欲

「ご褒美旅行」「花火」がトップ2。「フードイベント」「フェス」が伸長

- 2018年に参加したいイベントでは、「自分へのご褒美旅行」(32.5%)、「花火大会」(30.1%)がトップ2です。
- また、前回から「フードイベント」(17.8%)は5.7pt、「フェス」(11.3%)は3.7pt、伸長しています。
- 2018年は今回から追加した「体験型イベント」も含め、リアルな体験を楽しめるイベントが人気を集めそうです。

2018年の景況感

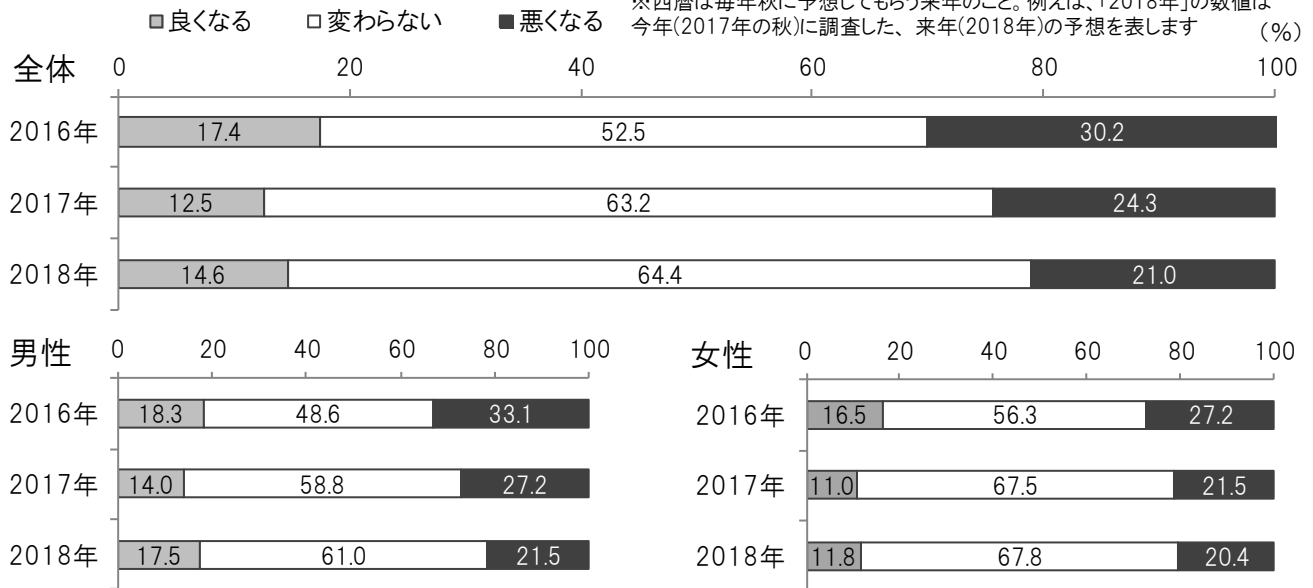
景気/家計の予想は、3年連続で「悪くなる」が減少、「変わらない」が増加

- 2018年の世の中の景気は「悪くなる」との予想は2016年の調査開始以降、連続して減少しました。しかし、「悪くなる」(21.0%)は相変わらず「良くなる」(14.6%)を上回ったままです。3年連続で増加しているのが「変わらない」(64.4%)で毎年最多となっています。
- この傾向は、自分の家計予想についても同様で、自由回答では景気/家計が良くなっても「庶民はあまり変わらない」「何も起こらず、普通に生活します」といった意見も多くみられました。

世の中の景気予想

Q 来年の「世の中の景気」は、今年と比べてどうなるといいますか(単一回答)

※西暦は毎年秋に予想してもらう来年のこと。例えば、「2018年」の数値は今年(2017年の秋)に調査した、来年(2018年)の予想を表します (%)

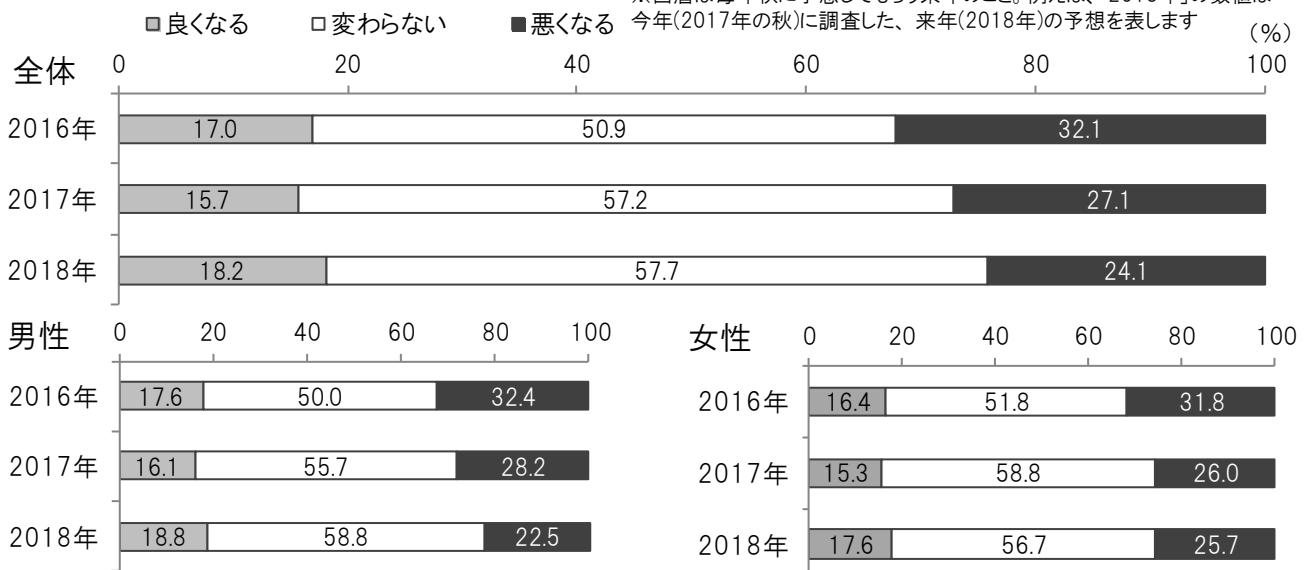


景気が良くなると、どうなると思う？	<ul style="list-style-type: none"> ・富裕層中心によくなると思うが、庶民はあまり変わらない(男性61歳・香川) ・2019年の増税を前に、消費が拡大傾向になると思う(男性33歳・石川) ・IT関連のもの、IoTやフィンテックなどの利便性がどんどん上がっていく(女性53歳・神奈川)
景気が悪くなると、どうなると思う？	<ul style="list-style-type: none"> ・特別には何も起こらないが、人心が守りに向かうと思われる(男性61歳・北海道) ・年金支払い時期の後ろ倒しや、減額がリアルになってくる(女性46歳・石川) ・AIを使った機器導入が進む。小売業を中心に産業構造が変わっていく。異業種参入が増える(男性37歳・広島)

自分の家計予想

Q 来年の「自分の家計状態」は、今年と比べてどうなるといいますか(単一回答)

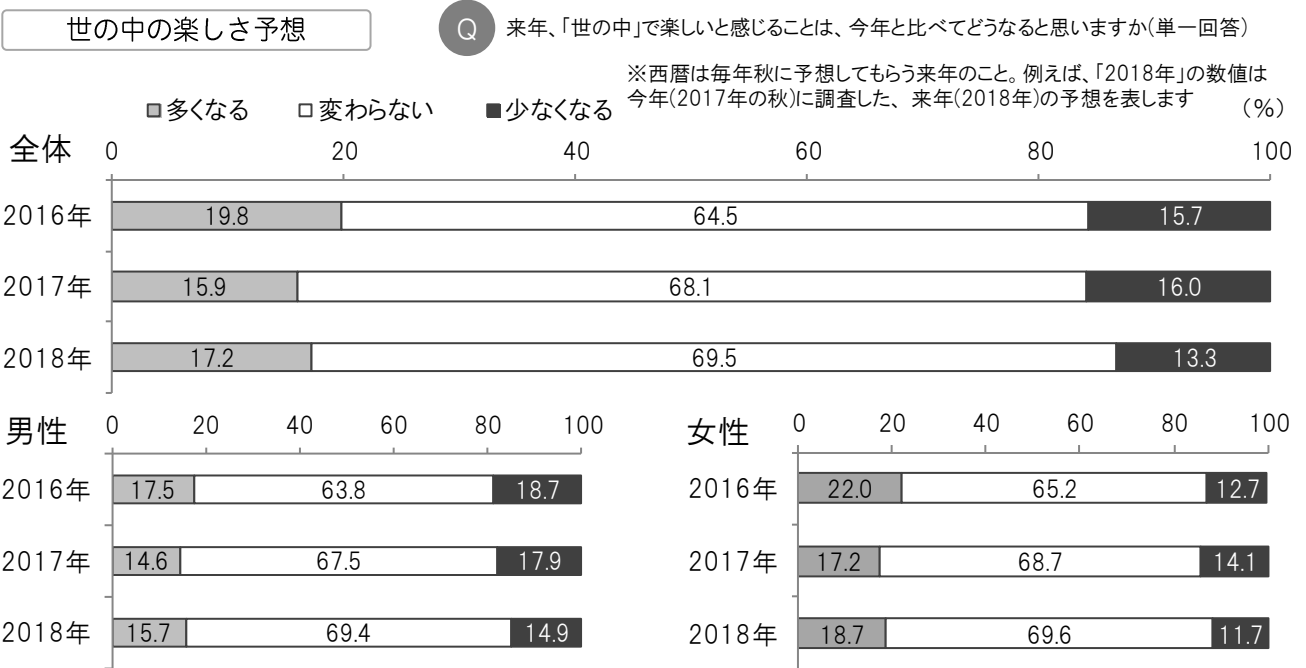
※西暦は毎年秋に予想してもらう来年のこと。例えば、「2018年」の数値は今年(2017年の秋)に調査した、来年(2018年)の予想を表します (%)



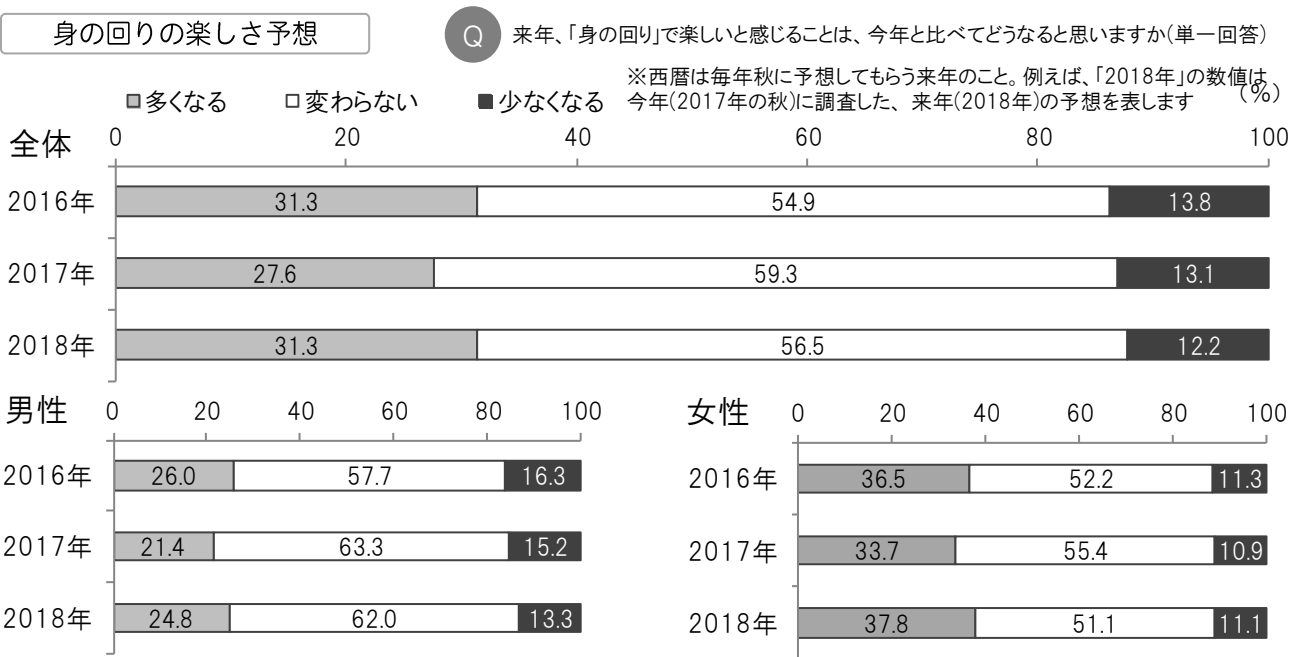
家計が良くなると、どうなると思う？	<ul style="list-style-type: none"> ・何も起こりません。おいしいものを食べるなど少しの贅沢はあると思いますが、普通に生活をします(女性42歳・北海道) ・使える金額が増えた分は、投資に回して着実に資産を増やしていく(男性32歳・北海道) ・今の我慢している状態から脱する事で、気分的にも明るくなると思うし、そう願っている(男性49歳・福岡)
家計が悪くなると、どうなると思う？	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり変わらないが、食後のデザートを減らす、スマホを格安に変えるなど出来る事はしたい(女性67歳・福岡) ・節約を第一に考える。無駄な付き合いなどを断る。預金の切り崩しが始まるかも知れない(女性68歳・兵庫) ・ますます生活防衛に神経を使う。お金の使い方もより慎重さが増すことになると思う(男性41歳・東京)

世の中よりも、身の回りの楽しさが多くなることを期待

- 2018年、世の中の楽しさは「多くなる」(17.2%)と「少なくなる」(13.3%)に大差がありません。
- 一方、身の回りの楽しさは、「多くなる」(31.3%)が「少なくなる」(12.2%)の約3倍です。
- 特に、女性で「多くなる」(37.8%)が多く、男性(24.8%)を13.0ptも上回っています。
- 自由回答では、女性を中心に世の中/身の回りともに「希望として楽しいことが多くなる」といいなと思う「賑やかに過ごしたいという願望」といった、来年への期待を込めた意見も多く挙がります。



世の中でどんな楽しさが多くなると思う?	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないけど、希望として楽しいことが多くなるといいなと思う(女性31歳・宮城) ・オリンピック開催に向けて、いろいろなものができ、楽しいことがどんどん増えると思います(女性44歳・北海道) ・サッカー日本代表などのうれしい話題が増えると思う(男性22歳・福岡)
世の中でどんな楽しさが少なくなると思う?	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢が不安定なので、今年より良くなると思えない。社会全体から楽しさが失われる不安がある(男性33歳・東京) ・ネットやスマホなどで楽しんだりするので、実際の楽しみは減りそう(女性60歳・宮城) ・具体的にはわからないが、世界情勢が不安定なので、なんとなくそう思う(女性35歳・石川)



身の回りでどんな楽しさが多くなると思う?	<ul style="list-style-type: none"> ・個人が強くなり、楽しいことやみんなから需要のあることが多く発信されるのではないかと期待(男性26歳・岡山) ・楽しいと思える小さな幸せを毎日探しているの、多くなると思います(女性29歳・神奈川) ・賑やかに過ごしたいと思う願望の表れ。実際そうなるかはわからないが、希望的観測も込めて(女性50歳・大阪)
身の回りでどんな楽しさが少なくなると思う?	<ul style="list-style-type: none"> ・平日仕事で忙しいため、休みは家事をこなすことが増え、レジャーの時間が少なくなりそう(女性35歳・新潟) ・テクノロジーが進み、人間的な味わいが少なくなりそう(男性64歳・福岡) ・使えるお金が制限されていくため、楽しいことをするための出費が出来ない(男性41歳・石川県)

力を入れたいことは、1に「睡眠」、2に「健康」、3・4が「余暇」で、5に「貯蓄」

- ・2018年に力を入れたいことは1位「睡眠・休息」(80.7%)、2位「健康」(79.6%)がほぼ同レベルでトップ2です。
- ・以下、3位「趣味・遊び」(74.5%)、4位「家族との交流」(70.2%)の「余暇」系、5位「貯蓄・投資」(66.3%)と続きます。
- ・また、前回に比べ、全体的に意欲は低下傾向。トップ10内では5位「貯蓄・投資」の6.8pt減、7位「家事」の6.1pt減が目立ちます。来年も好転までは期待できない家計状況、共働きなど忙しい人の増加などを背景に、生活者の間でまずは、休みたい、貯めたいという意識が高まっているようです。

力を入れたいこと(上位10位)

Q 2018年(来年)、次にあげる生活行動にどの程度力を入れたいですか(複数回答)
 ※西暦は毎年秋に予想してもらう来年のこと。例えば、「2018年」の数値は今年(2017年の秋)に調査した、来年(2018年)の意欲を表します
 ※全24行動のうち、上位10位までを2018年を基準にランキング

		全体				男女別(2018年)		
		2016年	2017年	2018年	17→18年	男性	女性	男-女
1位	睡眠・休息	83.4	82.6	80.7	-1.9	75.7	85.5	-9.8
2位	健康	83.2	82.2	79.6	-2.6	74.9	84.3	-9.4
3位	趣味・遊び	75.7	78.1	74.5	-3.6	74.6	74.4	0.2
4位	家族との交流	75.8	73.6	70.2	-3.4	63.6	76.6	-13.0
5位	貯蓄・投資	70.9	73.1	66.3	-6.8	62.2	70.4	-8.2
6位	食事・飲酒	58.6	58.9	61.8	2.9	55.5	68.1	-12.6
7位	家事	64.7	64.9	58.8	-6.1	47.1	70.3	-23.2
8位	友人・恋人との交流	61.7	62.4	56.6	-5.8	51.6	61.6	-10.0
9位	エンタメコンテンツの鑑賞・閲覧	57.1	57.0	52.2	-4.8	47.6	56.7	-9.1
10位	ファッション・身だしなみ	56.7	57.0	52.1	-4.9	36.8	67.1	-30.3

(%) (pt) (pt) (pt)

力を入れたいこと(上位5位)の具体例(上位5位)

睡眠・休息	・自分の時間を少しでも作りたい(女性44歳・愛知) ・毎日の疲れを癒せるように睡眠環境を整えたい(女性44歳・北海道) ・休みを取り、旅行でリフレッシュする(男性40歳・福岡)
健康	・体を大事にしたい 検診を積極的に受ける(女性50歳・香川) ・何をしてもまずは健康が重要。自分の体調管理をきちんと行う。メンタルヘルスも注意する(女性58歳・静岡) ・ジムで身体をメンテし、持久力をつけたい(男性63歳・静岡)
趣味・遊び	・今以上にいろいろと趣味の時間を設け、自分のスキルアップをしたい(男性48歳・兵庫) ・好きなアーティストのライブで全国各地に行ったり、写真撮影のため、バスや電車、車で景勝地をまわる(女性59歳・愛知) ・友人たちとの趣味の健康マージャンを楽しみたい(女性69歳・北海道)
家族との交流	・会話を増やしたり、一緒にできる体験を増やす(女性34歳・広島) ・バラバラに過ごす時間が長くなるので、意識して交流していきたい(男性42歳・埼玉) ・両親も高齢になって来たので、動けるうちに一緒に行動したい(女性48歳・静岡)
貯蓄・投資	・株価をチェックして株を買って投資したい(男性21歳・石川) ・出費を抑えるだけでなく、収入を少しでも増やす方法についての情報を集めて実践したい(女性23歳・東京) ・買い物や通信費などを見直して、無駄を省き、将来のためにもう少しお金を増やしたい(女性69歳・宮城)

2018年の始めたいこと/やめたいこと

始めたいことで「副業」、やめたいことで「人付き合い」が上位に

- 2018年に始めたいことがあるのは3人に1人(31.3%)。やめたいことがある5人に1人(20.7%)を上回ります。
- 始めたいことでは「運動」「ウォーキング」「貯蓄」「副業」「資格や免許の取得」「勉強・通学」などが上位に挙げられます。ここからは、健康や金銭、能力に関する自力を高めることで暮らしを安定させたいと思っている、そんな生活者の願望がうかがえます。
- やめたいことでは、「無駄遣い・衝動買い」「食べ過ぎ・飲み過ぎ」「無理しての人付き合い」が上位で特に女性で顕著。無理や無駄をなくして合理的に暮らしたいと感じているようです。

始めたいことが“ある”

やめたいことが“ある”

Q 来年、「思い切って始めてみたいこと」はありますか(単一回答)

Q 来年、「思い切ってやめたいこと」はありますか(単一回答)

※西暦は毎年秋に予想してもらう来年のこと。例えば、「2018年」の数値は今年(2017年の秋)に調査した、来年(2018年)の意欲を表します

全体			男女別(2018年)		
2017年	2018年	17→18年	男性	女性	男-女
35.4	31.3	-4.1	29.1	33.4	-4.3
	(%)	(pt)		(%)	(pt)

全体			男女別(2018年)		
2017年	2018年	17→18年	男性	女性	男-女
23.5	20.7	-2.8	19.5	21.8	-2.3
	(%)	(pt)		(%)	(pt)



始めたいこと(上位10位)

やめたいこと(上位10位)

Q 来年、「思い切って始めてみたいこと」は何ですか(複数回答)

Q 来年、「思い切ってやめたいこと」は何ですか(複数回答)

※始めたいことがある人へのみ質問
(全体1,220人 男性563人 女性657人)
※数値は、始めたいことがある人ベースで算出
※全24行動のうち、上位10位までを2018年を基準にランキング

※やめたいことがある人へのみ質問
(全体806人 男性377人 女性429人)
※数値は、やめたいことがある人ベースで算出
※全24行動のうち、上位10位までを2018年を基準にランキング

	2018年	全体			男女別(2018年)		
		男性	女性	男-女	男性	女性	男-女
1位	運動・体操・筋トレ	38.2	36.2	39.9	-3.7		
2位	趣味・習い事	29.4	27.2	31.4	-4.2		
3位	貯蓄	28.7	24.3	32.4	-8.1		
4位	ウォーキング・ジョギング	25.2	24.2	26.1	-1.9		
5位	副業	24.2	24.5	23.9	0.6		
6位	ダイエット・食事制限	23.8	19.0	27.9	-8.9		
7位	資格や免許の取得	21.0	21.3	20.7	0.6		
8位	仕事	20.0	17.8	21.9	-4.1		
9位	投資・資産運用	18.3	23.4	13.9	9.5		
10位	勉強・通学	15.3	15.5	15.2	0.3		
		(%)	(%)	(%)	(pt)		

	2018年	全体			男女別(2018年)		
		男性	女性	男-女	男性	女性	男-女
1位	無駄遣い・衝動買い	38.7	33.7	43.1	-9.4		
2位	食べ過ぎ・飲み過ぎ	28.8	24.4	32.6	-8.2		
3位	無理しての人付き合い	27.9	20.2	34.8	-14.6		
4位	夜更かし	24.3	18.6	29.4	-10.8		
5位	不規則な生活	24.1	22.3	25.6	-3.3		
6位	お菓子・甘いもの	19.7	13.5	25.2	-11.7		
7位	スマホの使い過ぎ	19.5	13.8	24.5	-10.7		
8位	間食	17.9	12.5	22.6	-10.1		
9位	喫煙	16.7	21.5	12.6	8.9		
10位	仕事	11.7	10.6	12.6	-2.0		
10位	パソコンの使い過ぎ	11.7	9.8	13.3	-3.5		
		(%)	(%)	(%)	(pt)		

「ご褒美旅行」「花火」がトップ2。前回から「フードイベント」「フェス」が伸長

- ・2018年に参加したいイベントでは、「自分へのご褒美旅行」(32.5%)、「花火大会」(30.1%)がトップ2です。
- ・また、前回から「フードイベント」(17.8%)は5.7pt、「フェス」(11.3%)は3.7pt、伸長しています。
- ・2018年は今回から追加した「体験型イベント」も含め、リアルな体験を楽しめるイベントが人気を集めそうです。
- ・イベント参加意欲は「スポーツ観戦」などスポーツ系を除き、全体的に男性よりも女性で高い傾向もみられました。

参加したいイベント(上位10位)

Q 来年、行ったり、参加したいと思うイベントは何ですか(複数回答)

※西暦は毎年秋に予想してもらう来年のこと。例えば、「2018年」の数値は今年(2017年の秋)に調査した、来年(2018年)の意欲を表します
※全24行動のうち、上位10位までを2018年を基準にランキング

		全体				男女別(2018年)		
		2016年	2017年	2018年	17→18年	男性	女性	男-女
1位	自分へのご褒美旅行	33.8	32.2	32.5	0.3	28.2	36.9	-8.7
2位	花火大会	33.5	31.7	30.1	-1.6	25.9	34.2	-8.3
3位	スポーツ観戦	-	17.5	18.3	0.8	22.7	14.1	8.6
4位	フードイベント	14.7	12.1	17.8	5.7	14.4	21.2	-6.8
5位	工場見学ツアー	12.4	11.2	12.4	1.2	10.5	14.3	-3.8
6位	フェス	8.2	7.6	11.3	3.7	10.1	12.5	-2.4
7位	豪華列車の旅	10.1	7.1	7.4	0.3	6.2	8.6	-2.4
8位	豪華客船の旅	7.5	5.5	6.9	1.4	6.0	7.7	-1.7
9位	体験型イベント	-	-	6.7	-	5.1	8.3	-3.2
10位	バレンタインの自分チョコ	7.9	6.4	6.3	-0.1	1.4	11.1	-9.7

(%)

(pt)

(%)

(pt)

“生活気分” 調査概要

生活者が予想する来年の景況感や生活気分、行動意欲などを時系列で比較する調査。初回(2016年予想)は2015年11月、第2回(2017年予想)は2016年10月に実施。今回(2018年予想)は3回目となります。

(2018年予想)

調査地域 全国11都市
 首都40km圏、名古屋40km圏、阪神30km圏、
 札幌20km圏、仙台20km圏、新潟30km圏、
 金沢20km圏、静岡20km圏、広島20km圏、
 高松30km圏、福岡30km圏

調査手法 インターネット調査

調査対象 20~69歳の男女 3,900人
 男性1,935人 女性1,965人

調査時期 2017年10月5日(木)~10日(火)

企画分析 博報堂生活総合研究所

実査集計 株式会社東京サーベイ・リサーチ

(2017年予想)

調査対象 20~69歳の男女 3,900人
 男性1,941人 女性1,959人
 調査時期 2016年10月6日(木)~11日(火)

(2016年予想)

調査対象 20~69歳の男女 3,900人
 男性1,939人 女性1,961人
 調査時期 2016年11月5日(木)~9日(月)

※2016年予想・2017年予想とも、調査対象、調査時期以外の調査設計は2018年と同じ